

INTERVIEW

mimi 代表 ^{い だ み ほ} 井田 美保 氏

子どもの足により合った靴を提案。 気軽に相談できる場所でありたい



PROFILE

1973年生まれ、新潟市出身。千葉経済大学短期大学部を卒業後、1994年に新潟市内の百貨店に入社。約20年間、子どもの靴や洋服などの販売に携わる。2017年に退社し、2018年2月にmimiをオープン。靴と足についてのカウンセリングをはじめ、障害を持つ子どもの靴選びの相談にも力を入れる。

mimiは子どもの靴をメインとしたセレクトショップ。おしゃれでかわいいだけでなく、子どもの健やかな足の成長を支える靴を取り揃え、一人一人に寄り添った接客で靴選びを行っています。代表の井田さんに、これまでの経緯や仕事への思いなどについて伺いました。



mimi

〒950-0932 新潟市中央区長潟3-7-24
営業時間：10:00～18:00
定休日：不定休
TEL：025-287-2324
<https://mimi-mi.com/>



靴選びで困っているお客様のお手伝いをしたい。“出会えてよかった”と言っただけのことが喜びであり、最上級のほめ言葉です

20年間の販売経験を活かし 子ども靴中心の店を開業

子どもの靴をメインに洋服や雑貨などを取り扱うmimiは、百貨店で長年子ども洋品の販売を担当してきた井田さんが2018年に開業した店だ。「約20年間子どもの靴に携わってきた中で、靴選びに悩んでいる多くのお客様に接してきました。そこで気軽に靴と足について相談できる場所を作りたいと思い、自分で店を立ち上げることにしたのです」。

起業を決めた井田さんは、創業補助金^{*}の申請について商工会議所に相談。「申請の書類を最初に見ていただいたときに、“もう少し自分の思いを書き入れた方が伝わりますよ”と、具体的なアドバイスをいただけたのがよかったです」。また、開業後も経営計画セミナーの受講や個別相談会、小規模事業者持続化補助金^{*}などの利用を通して、事業を続ける上で必要な知識をその都度教えてもらえることが力になっているという。

足の成長により靴を厳選。 丁寧なフィッティングが重要に

「お子様の足の成長により靴を揃えています」と話す通り、店頭に並んでいる200点近くある靴は井田さんが全て自分の目で見て、触って、「これ」と思えるものを厳選。靴を提案する際にはフィッティングを重視し、足と靴の状態を見ながら、その子の足に合った一足を選んでいく。「お子様の場合、気に入った色の靴なら少し小さくても“ちょうどいい”と言ったり、履きたくない色なら“きつい、痛い”と言ったりすることがあるので、足の状態を見ながら、本当は何を伝えたいの



子どもが初めて履く靴から大人用まで、豊富なサイズとデザインが揃う。こちらは神戸の人気ブランド「ZOOM」とコラボした子ども靴と大人用のエナメルシューズ。親子でコーディネートできると好評だ。

かを考えることも必要です」。

また、mimiの商品だけでなく、他店で買った靴や貰った靴でも、足に合っているかどうかのチェックやアドバイスをしているのも大きな特徴だ。

InstagramやイベントでPR。 着実にリピーターが増加

Instagramでの発信やさまざまな会場のイベントに積極的に参加している同店。「イベントの出店は売上ではなく、店を知っていただくことが目的。そこから店に足を運んでもらうという流れを作りたいと思い参加しています」。こうした地道なPRや口コミなどの効果もあり、今では県内各地をはじめ県外からもお客様が来店。開業から3年で着実にリピーターを増やしている。

「お客様とは長くお付き合いしていきたいですし、お子様の成長を見続けさせていただけるのはすごくありがたいと、幸せなことだと思います。より多くの人にmimiを知ってもらい、子どもの靴や足で悩む人たちの相談場所であり続けたいですね」と井田さん。これからもこだわりの商品とサービスで、子どもたちの成長をサポートしていく。

※
各種補助金情報
はこちら



子どもが遊べるスペースもあり、楽しくショッピングできる。店頭には、スニーカーからオシャレ靴までがズラリ。新潟ではここにしかないブランドもある。